

## 血管年齢について ～指先で血管年齢が分かります～

血管年齢は、血管の老化具合の目安です。血管年齢が高いと動脈硬化が進行し、血管年齢が低いと動脈硬化がそれほど進行していないことになります。

動脈硬化は、血管の老化により、血管が硬くなったり、様々な物質が溜まることで血管が狭くなったりし、血管内の血液の流れが滞ってしまう状態です。

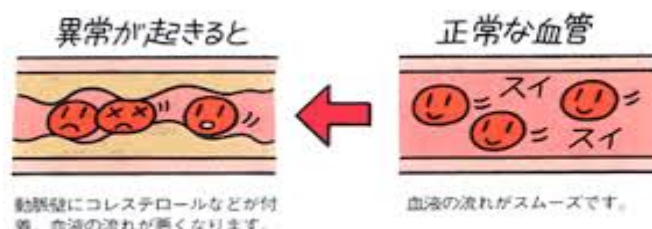
### 「血管年齢が高い＝動脈硬化が進行している」

血管年齢が高いと診断

⇨動脈硬化が進行している状態、

血管年齢が若いと診断

⇨動脈硬化の進行はそれほど進んでいない



動脈硬化は庭に置き去りの水を撒くホースと一緒に、日光に照らされてカチカチに固まってしまった状態、急激な水圧をかけることで、簡単に破れてしまい、切れてしまいます。それと同じことが体の中に起きるのです。さらに、カチカチになって破れてしまった血管が、太くて重要な血管ほど、重篤な病気につながり、命に係わるようなケースになることが多いです。つまり、脳卒中、脳梗塞、心筋梗塞のリスクが高まることになるのです。

血管年齢の老化の主な3つの原因は、

高血圧、高血糖、中性脂肪・コレステロール  
が高いということが挙げられます。

血管年齢を測定して、  
動脈硬化の進行を確かめましょう。



### 血管年齢の測定について

CAVI（キャビー、血圧脈波検査）、  
加速度脈波計（指先で測定）があります。

CAVI 検査とは、脈波（脈の伝わり方）と血圧を測定して、動脈の固さ、詰まり、血管年齢を判断します。

加速度脈波計は、指先で測定するものです。人差し指を機器に入れて測定します。約20秒で結果が出るため簡単に血管年齢を調べることができます。指の脈拍を見て、心臓から末梢血管までの血液のスピードを測定して、血管年齢を測定する方法です。

**当院では加速度脈波計での測定を行っております。**

ご希望の方はスタッフにお声掛け下さい